

# 戸田市薬剤師会 定例理事会議事録

記録日	R3.9.14
記録者	芹澤

日時	令和3年9月14日 13:00~15:00	出席者	染川、野口、佐貫、鎌田、鯨井、 芹澤、宮下
場所	多世代交流館 A 会議室		

## 議題

会長報告  
副会長・委員会報告  
理事・委員会報告  
その他

## 会議内容

### 染川会長

●第7次埼玉県地域保健医療計画の年次報告。薬剤師会としては全7項目中、5項目を取り組むこととなっている。10/14 南部保健所提出なので、9/30 までに各委員会で R3 年度活動報告と R4 年度の計画を記入し、提出の事。

●注射針の回収事業の件で、戸田市役所の環境課に相談した。注射針を回収する薬局のリストをホームページに載せること自体はできるとのことであった。あくまでも「針の回収を通じて戸田市に協力、貢献する戸田市薬剤師会」とのスタンスを確認。野口副会長他各出席理事からも薬剤師会の会員薬局に限定して載せることと、その際は当会 HP にも掲載する旨の意見多数。具体的な検討をこれから行うことを全会一致で承認。

●福祉施策協議会で福祉全般の相談をする「戸田市福祉総合窓口」が昨年できた。染川会長を窓口にして協力体制を構築することで全会一致。

### 野口副会長

●社協との高齢者フレイル予防のコラボ企画について、スタンプ台紙の改良、クイズを 28 個作成し、参加薬局にメールしたことを報告。

●ロゴ作成について、前回の理事会で決定したとおり、クラウドワークスでデザインコンペ発注した。2 週間応募ののち 2 週間確認できるので、会員皆に選んでもらいたい。

### <危機管理災害対策委員会>

●前回の理事会に続き、現在の課題について抽出した。

- ・災害拠点薬局（第一薬局）の整備についての具体策
- ・会としての備蓄品の選定

「市中で不足する」「市民に供給」を前提に、できるだけ各薬局でランニング備蓄できるものを選定する。予算は 10～15 万。

●蕨戸田医師会の在宅医療連携室の矢作様より、ターミナル患者をうけてくれるクリニックを探しているが、薬剤師側のニーズも掘り起こしたいとのことで野口副会長を通じて依頼あり。麻薬の備蓄や輸液管理等の問題あるが、引き続き保険委員会中心に議論して協力体制を気づくことを全会一致で確認。

#### 鎌田理事

##### <学術研修委員会>

- QR コードの読み取り機の無償貸与あったとのこと。PCS は10月下旬から始動となるが、詳細はいまだ不明とのこと。
- 学術講演会についてはいくつかのメーカーからアプローチあり。シールを発行しない条件ながらオンラインで行うことを考えている、とのこと。野口副会長より「学術研修委員会」なので「研修」の部分も担っていただくよう要望あり。快諾した。

#### 鯨井理事

##### <地域連携委員会>

- 9/10 元気ふっかつ体操での薬の講習会実施した。こういう協力をしてもらえると「薬剤師（会）は頼りになる！」とお声を依頼主から頂いたとのこと。
- 今後も元気体操のほか、認知症カフェなどでも依頼がかかることも想定。MSC 戸田市地域活動薬剤師の会について広報の仕方や実際の登録の仕方について検討していくとのこと。近いうちに委員会を開く予定。

#### 佐貫理事

##### <薬学性実務実習委員会>

- 学校薬剤師については、ハロー薬局岡先生に依頼した。
- セルフメディケーション実習については、イオン薬局北戸田店での実施が難しい場合、代替の実習先を探さないといけないとのこと。検討課題となった。

#### 芹澤副会長

●総務委員会内で当会の会員種別や、会費、会員からの意見の吸い上げ方等についてアンケートを実施した。会員種別や会費 については少数ながら無視できない意見として県薬、日薬の会費まで考えると入るのを躊躇してしまう、などの意見あり。染川会長、野口副会長よりアンケートを行うことは非常に重要であるとの認識を示され、今後会員全員にアンケートをとって分析し、今後の当会の運営に生かすことで全会一致した。

### 決定事項

- 新ロゴの作成
- 会員へのアンケート実施（内容はこれから検討）
- 学術研修委員会による会員の「研修」

### 検討事項

- 会費の一部返還等会費の有効活用について
- 災害拠点薬局の整備の具体策
- 災害備蓄品の選定

- HPの有効活用
- 注射針の回収事業
- セルフメディケーション実習の受け入れ先の選定
- ターミナル患者受け入れ薬局